

豊橋市「新アリーナ」の建設・運営に関する民間提案募集の協議対象者の決定について

1. 募集の概要

(1) 事業名称

豊橋市「新アリーナ」の建設・運営に関する民間提案募集

(2) 募集内容

新アリーナの設置場所を豊橋公園とし、建設と運営の方法について民間資金・ノウハウを最大限活用した提案を募集

(3) 審査方法

性能点を60点、価格点を40点の配分で採点

性能点：プレゼンテーションを審査委員会（民間委員5人、市職員1名）で採点

価格点：最も低い提案者の市の負担額／各提案者の市の負担額×100×0.4

(4) 応募者数

1者

2. 決定協議対象者

審査基準に基づき、審査委員会が審査を行い協議対象者を決定しました。

※本決定は協議対象者の決定であり、同対象者による事業実施が決定されたものではありません。

今後双方協議の上、同対象者による実施可否について検討を進めていきます。

(1) 得点 83.35点（100点満点）

(2) 決定協議対象者

・事業者名：クロススポーツマーケティング株式会社

・代表者：代表取締役社長 中村 考昭

・所在地：東京都千代田区神田錦町3-20

・資本金：30,000,000円

※協議対象者の協力企業として（株）山下PMC、（株）フェニックスの2社が参画

3. 提案内容の概要

(1) 新アリーナのコセプトを踏まえた設計・建設の基本的な考え方

「感動を呼び起こす先進的な多目的アリーナを実現」

○多目的な施設利用を高稼働できるアリーナ

○高揚感を得られるプレー環境と臨場感を体験できる観覧環境

○管理・運営のしやすい施設環境

①年間を通してアイスリンクの利用が可能で、且つフロアをスポーツ観戦、コンサート、展示会などの様々な用途に短時間で変換することができる高稼働なアリーナを実現。

- ②エンターテインメント性の高い最新機器を導入。また、適時更新を行うことで最新のエンターテインメント性を確保したアリーナを実現。
- ③スタンドは傾斜の大きいすり鉢状の形状でVIPルームなど目的に応じた観戦が可能。
- ④三遠ネオフェニックスの参画により、チームが持つハード・ソフトそれぞれのコンテンツを生かした一体的な運営を行う。
- ⑤ゼビオグループが運営に携わる他のアリーナ施設と連動した興行の誘致を行う。

(2) 施設概要

- ・建築面積 6,790 m² (延床面積 9,500 m²)
- ・観客席数 約 5,000 席 (バスケットボール利用時)
- ・競技場面積 2,240 m² (64m×35m バスケットボールコート 3 面分) の大きさを持ち、B1 リーグの公式戦が開催できる施設

(3) 事業スキーム

- (ア) 豊橋市の負担を軽減するために、協議対象者が初期投資を全額負担 (約 50 億円)
- (イ) 最新のエンターテインメント性を確保するため、演出機器の所有、保守、更新は協議対象者が全額負担 (約 30 億円) し行う。
- (ウ) アリーナの運用費については、協議対象者が全額負担 (30 年間の総額 約 60 億円) する。
- (エ) 市 (185 日間程度)、三遠ネオフェニックス (50 日間程度)、協議対象者 (130 日間程度) で年間利用日数を割り振り、年間を通じた運用を行う。
- (オ) 豊橋市はアリーナの利用枠分の年間利用料を支払う (30 年間の総額 約 60 億円)
- (カ) 実施可能なスポーツ
バスケットボール、バレー、ハンドボール、フットサル、バトミントン、テニス、ソフトテニス、卓球、体操、新体操、柔道、剣道、空手、拳法、相撲、フェンシング、レスリング、ボクシング、フィギアスケート、アイスホッケー、スピードスケート (ショートトラック)、カーリング等
※上記金額は全て提案時の想定概算金額であり、実際の金額は今後の協議にて決定します。

4. 今後の進め方

今後、審査講評を踏まえ建設に向けて協議対象者と詳細協議を行います。

【施設のイメージ】

